



加悦谷 ニュースレター



一人一人の可能性を伸ばす

宮津天橋高等学校
加悦谷学舎

令和6年度vol.7(3月)

題字：書道部 荒田 幸弥(1年) 作

2年生Kayadani仕事体験(インターンシップ)

2年生就職希望者を対象に、冬季休業中に地元企業・団体へのインターンシップ「Kayadani仕事体験」を実施しました。与謝野町や宮津市、京丹後市の接客、飲食、土木、製造、福祉、行政など分野もさまざまな13ヶ所の事業者の皆様にお世話になりました。

昨年度から継続して受け入れていただいた事業所や、今年度から新たに受け入れていただいた事業所において、実際の業務体験等をさせていただきました。3日間という短い期間で、高校生に仕事の魅力や大切にすべきことを伝えようと創意工夫をしていただきました。見学やお話を聞くだけでなく、実際に作業を体験することで、生徒たちはその仕事の難しさややりがいを大いに感じられたインターンシップとなりました。



2年生Kayadani仕事体験報告会

Kayadani仕事体験の報告会を実施しました。冬季休業中に地域事業者の方にお世話になって取り組んだインターンシップでの学びをレポートにし、6名の生徒が発表しました。お世話になった事業所からも15名が参加してくださいました。

いさご農園様で体験した生徒は、「コミュニケーション能力が一番大事だと思った。高校生のうちから意識して高めたい。」と発表し、砂後様からは「即戦力として力を発揮してくれた。」というお言葉をいただきました。他の事業者の方も「仕事をしていくうえでコミュニケーション能力は重要視している。」とおっしゃっていました。

株式会社セレモニーまつだ様で体験した生徒は、「葬儀は一度きりのことだから、最期を送るという責任感を持って仕事に取り組んだ。」と発表し、発表を聴きにいられていた松田様から「新しい社員を迎える気持ちで3日間を過ごしました。私たちが仕事で大切にしていることが伝わって良かったです。」というコメントをいただきました。

報告会には1年生全員が参加し、今後の進路実現に向けた多くのヒントを得ました。地域事業者の方からは、ぜひ来年もインターンの受け入れをしたいというお声をいただき、1年生の中には実際に企業に興味を持った生徒もいました。

高校生活だけでは学べない、社会に出て働くとはどういうことなのかを自分なりに体験し、学ぶことができた貴重な機会となりました。



小高英語交流会

小高英語交流事業として1月24日(金)5・6限、本校に加悦小学校5年生を招き、3年生英語特講受講者と英語で交流しました。高校生が事前に企画した3ヒントゲームや伝言ゲームなど5種類のゲームを通して交流しました。最初はお互いに緊張した様子でしたが、徐々に笑顔があふれ、うまくコミュニケーションをとれるようになっていました。

高校生のアンケートでは、「準備期間は不安しかったけど、それ以上に小学生のみんなが全員楽しんでいたので私たちも楽しくなった。」小学生のアンケートでは、「英語はあまり得意ではなかったけど、英語が得意になりました。高校での英語の授業が楽しみになりました。高校生の方がとても親切でものすごく楽しかったです。」という声が聞かれました。



京都フロンティア校発表会



令和6年度京都フロンティア校研究成果発表会が2月2日(日)に京都建築大学校にて開催され、2年生総合的な探究の時間で「滝の千年ツバキ公園」の遊歩道をテーマに探究しているチームの生徒2名がプレゼンテーション発表を行いました。



6月に行ったフィールドワークで、よさの三四の森の会の方に案内いただいたり、与謝野町で活動されているエグcaféさんに相談をしたりしながら、千年ツバキ公園を盛り上げるための企画案をまとめた内容を発表しました。オリジナルキャラクターも考案し、PRに繋げていきたいという強い思いを発表しました。他校の生徒からたくさんの質問がありましたが、本校の生徒たちは堂々と受け答えをしていました。

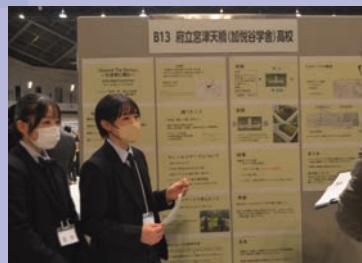
最後に講評の時間があり、「分析・提言の適切さ100%!」という高評価、さらに「地域の人々が大切にしている椿に対する加悦谷学舎の生徒たちの熱い気持ちが伝わってきた。」という嬉しいコメントもいただきました。

今後は、与謝野町役場や与謝野町観光協会の方とも協力しながら、千年椿のPRを進めていく予定です。今回の経験を活かして、より深い探究活動にしていきたいと思います。

京都探究エキスポ



立京都国際会館で「京都探究エキスポ」(主催:京都府教育委員会・京都市教育委員会)が12月21日(土)に開催され、2年生の総合的な探究の時間でビオトープについて探究しているチームが参加しました。



このイベントは今年度初開催でしたが、「生徒自身が主体的に作り上げる場」であることを目指し、熱意ある生徒たちの手によって具体的な企画を検討・

準備されており、その様子にも刺激を受けました。ポスターセッションでは、大学生や大学院生、また他校の教員や生徒から質問やアドバイスをいただき、生徒たちは「改めて探究活動へのモチベーションが高まった。」と話していました。

今後も探究活動は続きます。この経験を活かして、さらに学びを深めていってほしいと思います。

中学生に「総探」アドバイス

3年生9名が1月31日(金)に加悦中学校を訪問し、中学1年生の総合的な学習の時間「与謝野町の魅力動画制作」に対してアドバイスをを行いました。

まず高校生から、3年間の総合的な探究の時間でそれぞれが取り組んだことを紹介し、中学生たちはメモを取りながら真剣に話を聞いていました。次に中学生8グループにそれぞれ高校生が入って、事前に中学生からもらっていた質問に答えたり、動画制作の方向性についての相談にのったりしました。大江山、丹後ちりめん、農業など幅広いテーマに対して、生徒たちは事前に下調べを行って、中学生と一緒にアイデアを出しました。

最後に中学生から、「自分たちの質問に丁寧に答えてもらい嬉しかった。」「これから頑張って動画を作っている人々に観てほしい。」という感想を伝えてもらいました。

総合的な探究の時間で地域探究に取り組んできた生徒たちだからこそ、伝えられる内容がたくさんあったと感じる交流の時間でした。動画の完成が楽しみです。



西脇知事の特別授業



都府の西脇隆俊知事が12月16日(月)に加悦谷学舎を訪問され、生徒たちを対象に特別授業を実施しました。今回、令和6年度地域課題解決プロジェクト(丹後編)の一貫として「若者を惹きつける地域づくり」というテーマで丹後地域を訪問される中、丹後地域で家業継承や起業等を通じて様々な課題にチャレンジされている若者と意見交流された後、加悦谷学舎にも訪問いただきました。

西脇知事から丹後地域の魅力や現在の課題について講義をいただいた後、「どんな夢、希望を持っていますか」、「丹後地域に望むこと」、「京都府への要望や伝えたいこと」の3つのテーマで生徒たちと意見交流をしました。生徒たちはとても緊張した様子でしたが、しっかりと自分の意見を知事に伝えていました。



今、加悦谷がNEW TYPE



京都府与謝郡与謝野町字三河内 810

電話 : 0772-42-2171

FAX : 0772-42-2172

生徒たちの活躍や学校生活の様子なども更新中!
Web サイトも御覧ください

宮津天橋高校



高校HPの
二次元コード



高校インスタの
二次元コード



@MIYAZU_TENKYOU_HS